

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 3 月 26 日 作成

事務事業名		市税・国民健康保険税滞納整理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	市民部	課長名 浅野 静代
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	税務課	担当者名 坂上 範行
	基本事業	88	自主財源の確保			所属班	収納班	(内線) 1133
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	国徴収法、地方税法、合志市税条例、合志市国民健康保険税条例	成果優先度評価結果 2 コスト削減優先度評価結果 11
	1	2	2	1	11144・11145			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・課税された市税、国民健康保険税を国徴収法、地方税法、合志市税条例、合志市国民健康保険税条例に基づき滞納なく徴収するために必要な事務である。 ・税源移譲等の影響で滞納者数・滞納額が年々増加している。
【業務の流れ】	納税相談、電話催告、臨戸訪問、催告状発送、転出滞納者実態調査、財産調査、滞納処分、週1回窓口延長(午後7時30分まで)
【主な予算費目】	特殊勤務手当、旅費、消耗品費(地図など)、修繕費(車両点検等)、燃料費(ガソリン代)、印刷製本費(手書き納付書・書類印刷)、通信運搬費、公用車保険料
【意見や要望】	議員から滞納整理を強化するようとの意見
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	納税相談、電話催告、臨戸訪問、催告状発送、転出滞納者実態調査、財産調査、捜索、タイヤロック、滞納処分、インターネット公売、合同公売会参加、週1回窓口延長(午後7時30分まで)	② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市税、国民健康保険税滞納者
④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位) 円	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標	(単位) 円
⇒ ア 現年度課税分収納額	円	⇒ ア 現年度課税額	円
		⇒ イ 滞納繰越額	円
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	市税、国民健康保険税の確実な収納を図る。	⑥ 成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標	(単位) %
		⇒ ア 現年度課税分の収納率	%
		⇒ イ 滞納繰越額の収納率	%
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 景気の動向は依然として厳しい状況が続いており、収納率の大幅な向上は難しく、収納率を下げないことを目標値として設定する。			

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	円	7658751651	7414828390	7472654621	6162348240	6356946579	6417703221	6473887417
	イ	円	89964081	83903278	90520100	100130408	105130533	944802563	986886308
⑤ 対象指標	ア	円	7828609524	7617877925	7675530598	6378658169	6580690041	6635038667	6690372989
	イ	円	763600675	776575051	828671307	839265027	881228278	108253257	113546747
⑥ 成果指標	ア	%	97.83	97.33	97.36	96.61	96.6	96.72	96.76
	イ	%	11.78	10.8	10.92	11.93	11.93	11.46	11.51
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	192	4,000	0	0	0	0
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	2,738	3,492	3,566	3,566	3,587	3,600
	(A) 事業費計	千円	2,930	7,492	3,566	3,566	3,587	3,600	3,600
	(A)のうち指定経費	千円	771	778	837	772	837	837	837
	(A)のうち時間外、特勤	千円	771	778	837	772	837	837	837
	人件 費	正規職員従事人数	人	22	23	22	22	22	22
延べ業務時間		時間	14,476	14,479	14,483	14,278	14,310	14,310	14,310
(B)人件費計		千円	57,470	57,916	57,642	56,826	56,954	56,954	56,954
トータルコスト(A)+(B)		千円	60,400	65,408	61,208	60,392	60,541	60,554	60,554

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	0
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0

合志市

事務事業名	市税・国民健康保険税滞納整理事業	所属部	市民部	所属課	税務課
-------	------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷ 滞納処分の強化により収納率の向上を目指してきたが、景気低迷により収納率が低下してしまった。
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷ 目標達成については、景気の動向によって大きく左右されるため、不透明な部分もあるが、滞納処分の強化により達成を図りたい。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 滞納処分の強化及び未対応者に対する滞納整理を進める。また現在、県の未納税対策としては、地方税徴収特別対策室を設置し併任徴収の取組みが行われているところであるが、引き続き近隣市町と協議し、地方税回収機構の設立を県に働きかける。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 必要最小限度の事業費のみを計上しているため。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 納税は市民の義務であるため、対象は公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷ 課税された市税、国民健康保険税を市が徴収することは妥当であり、住民や地域・団体に移行は出来ない。

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

滞納処分の強化により収納率の向上を目指してきたが、景気低迷により収納率が低下してしまった。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>新規滞納発生の防止、分納納付者の徹底管理、滞納処分の強化を行う。 県の未納税対策としては、地方税徴収特別対策室を設置し併任徴収の取組みが行われてきたところであるが、引き続き、地方税回収機構の設立を県に働きかける。滞納者宅への臨戸訪問を非常勤職員・臨時職員により行う。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持																						
	低下																						
<p>(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>現在のところ地方税回収機構の設立の動きは無い。 滞納者宅への臨戸訪問を職員非常勤職員・臨時職員で行うことについては、人材確保が課題となる(税務行政に精通している者でなければ動まらない。)</p>																							